

症例解析&文献評価ワークショップ 2017 : てんかん

～患者背景に応じた科学的根拠のある処方提案をするために～

処方提案をするための根拠として診療ガイドラインや論文を調べたが、患者背景が異なる一人一人の患者に対する処方提案を自信をもってできない。論文を読む機会が少なく読み方・評価方法がわからない、医薬品情報の収集は企業の MR に頼っている。そのような経験はありませんか？

本ワークショップでは医薬品評価のために必要な基礎知識を学び、実際に症例解析もしくは文献評価を通して科学的に薬物治療を評価し、患者背景に応じた処方提案を自信を持って行える力を身につけていきます。さらに発展的な内容として、プリセプターとして参加していただくことで本学会のワークショップ認定指導者の指導のもとワークショップの立案や薬物治療の科学的評価の実践方法、スモールディスカッションの進行・指導方法について学ぶことが出来ます。対象疾患は「てんかん」で実臨床でも薬剤選択に難渋する高齢者の症例について検討を予定しています。一般社団法人薬局共創未来人財育成機構と共催でワークショップを実施します。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

※ 過去のワークショップの成果物は日本アプライド・セラピューティクス学会のホームページをご参照ください。

開催日時：2017年11月11日(土) 13:00～17:30、12日(日) 9:20～17:00

開催場所：京都薬科大学（京都府京都市山科区御陵中内町5）

定員：症例解析コース30名、文献評価コース30名

プリセプター10名（症例解析5名、文献評価5名）

参加費：正会員・準会員 7,000 円、非会員 13,000 円、学生 1,000 円（いずれも当日払い）

※当日欠席された場合や10月29日以降にキャンセルされた場合には、後ほど会費全額をお支払いいただきます。

申込方法：申し込みサイト apuseraws201711.peatix.com からお申し込みください。

※申し込みサイトからお申し込みが出来ない方のみ、問合せ先のメールに次の情報をお送り下さい。

- 1) 氏名（ふりがな）、2) 所属、3) 参加希望コース（一般かプリセプターかも含む）、
- 4) 会員種別、5) 情報交換会（会費 3000 円程度）への参加希望の有無を明記してください。

申込期限：一般参加 2017年10月28日(土)（先着順）プリセプター2017年9月29日(土)（先着順）

【認定単位】日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位、日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師講習会、日本薬剤師研修センター(G01)研修認定単位、薬局共創未来人財育成機構薬剤師研修センター(G18)研修認定単位の取得ができます。

また、一般社団法人薬局共創未来人財育成機構の「高齢者薬物治療認定薬剤師制度」の研修*、日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会のワークショップ認定指導者の認定要件の一つとなっています。

*症例解析コースは一般社団法人薬局共創未来人財育成機構の「高齢者薬物治療認定薬剤師制度」症例検討 WS-IV（高齢者薬物治療認定薬剤師制度の認定要件となるワークショップ）も兼ねております。当該機構からのお申込みを希望される方は1日目の内容に準じた Mobile Seminar を受講の上、2日目のワークショップから参加いただけます。Mobile Seminar を受講後でも、会場での1日目からの講演、演習（組織委員がサポートします）にはご参加いただけます。当該機構からの申し込みをご希望の方、当該機構の認定制度、Mobile Seminar などに関する詳細は、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先：ワークショップ組織委員会佐村 優（横浜総合病院） apusera.workshop@gmail.com

共催：日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 <http://www.applied-therapeutics.org/>

一般社団法人薬局共創未来人財育成機構 <http://pfpd.or.jp/>

コースの概要

症例解析：自覚症状や各種検査データから患者の病態を適切に評価したうえで患者の抱える問題点を把握し、ガイドラインや文献等をもとに根拠に基づいた薬剤選択、PK/PD 理論に基づく用法用量の設計、的確な治療モニタリング計画の立案、望ましい効果が得られない場合の対応など、薬物治療の科学的・合理的評価の基本的な思考と実践的スキルを学びます。

文献評価：臨床研究論文を読む際に注目すべきポイントを学び、論文データの正しい読み取り方（統計学的視点も含む）や批判的吟味の思考を習得します。英語論文を扱い、英語が苦手な方でも論文を評価できることを目指します。

ワークショップ認定指導者制度の発足に伴い、プリセプターとしての参加者も募集します。プリセプター参加の場合、演習課題の準備や指導方針などの事前打ち合わせ（主にメール）にも加わります。

当日のスケジュール

<11月11日（土）> ※症例解析コース参加で、薬局共創未来人材育成機構からお申し込みの方は希望者のみとなります。

時刻	症例解析コース	文献評価コース
12:30~13:00	参加受付	
13:00~14:00	講義：「てんかんの病態評価と標準薬物治療」 講師：金井紀仁 先生（新座病院 薬剤科）	
14:00~14:10	移動（休憩）	
14:10~15:40	講義：「抗てんかん薬の薬物動態」 講師：宮本康敬 先生（浜松医療センター 薬剤科）	講義：「前向き比較試験論文の批判的吟味」 講師：中田和宏 先生（越谷市立病院 薬剤科）
15:40~15:50	休憩	
15:50~17:20	演習：薬物動態演習	演習：文献評価演習
17:20~17:30	1日目のまとめと2日目のスケジュール確認	
18:00~	情報交換会	

情報交換会：参加者の交流を深めます。（希望者のみ、別途会費を頂戴します）

<11月12日（日）>

時刻	症例解析コース	文献評価コース
9:00~9:20	受付（薬局共創未来人材育成機構の申込者のみ）	
9:20~9:30	概要説明	
9:30~12:30	SGD：症例1の症例解析（基礎編）	SGD：課題文献#1の批判的吟味
12:30~13:30	昼食	
13:30~15:50	SGD：症例2の症例解析（応用編）	SGD：課題文献#2の批判的吟味
15:50~16:00	休憩	
16:00~16:45	総合討論	
16:45~17:00	修了証発行、閉会式	

SGD：small group discussion

参考資料：月刊薬事 4月臨時増刊号「病棟に行く前に知っておきたい Common Disease 外さない症例解析で薬物治療に強くなる！」（じほう）

<https://www.dropbox.com/s/xefbayeextridkhg/>

改訂2版「2ページで理解する標準薬物治療ファイル」（南山堂）

<https://www.dropbox.com/s/66ngiq7z8mvf8sc/>